



2012~2013

沼田ロータリークラブ会報

奉仕を通じて平和を
Peace Through Service

2012~2013年度 国際ロータリー会長 田中 作次

例会日…毎週火曜日 12:30 会長 宮澤孝幸 幹事 関 真一 会報編集 飯島千明
例会場及事務所 沼田市東原新町1540 利根郡信用金庫本店内 TEL 0278-24-1177

第2746回 例会報告

2013年5月28日

記録 飯島千明

例会予告

6/4	薬品乱用防止 保健福祉事務所 田仲先生
6/11	広域消防救急救命士 小林豊先生

2013年6月4日発行 No.47

川場村の新しいむらづくり

川場村むらづくり振興課長
中村雅治先生

■卓話者紹介

宮内明彦君

中村課長は、役場の各部署を担当され、昨年教育委員会よりむらづくり振興課長になられています。この課長は当公社の取締役でもあり、今日は川場村の取り組みをお話しいたできます。

■卓話

昭和56年に世田谷と協定を結びましたが、それ以前は県の市町村担当課内では、お荷物扱いされていて、それ以降はこんな小さな自治体に日本全国、世界からも視察が来るくらいまでに大きく変化しました。

世田谷区と健康村相互協力協定締結は永井村長時代に農家所得を増加するため、農業と観光の村づくりの一環で観光拠点をつくり世田谷区民健康村を事業化しました。

第一次総合計画で、川場スキー場開設、都市交流で友好の森建設し環境と景観の保全をはじめました。

第二次総合計画が平成7年から16年で、災害時の学校や森のむら開設で富士山ビレッジ、中野ビレッジができ、田園プラザもオープンしました。

第三次総合計画が平成17年から26年までで都市交流事業では、交流事業の一元化のため里山自然学校を行い、交流事業を発展させるため、後山整備計画や農産物のブランド化を図り、雪ほたかだけでなく多角化を行い発展を考えています。その背景として景観保全是欠かせません。

第三次も終了するので次のむらづくり計画が練られています。ライスセンター、木材コンビナートとバイオマス発電、小水力発電、国際文化サミットによるクールジャパン戦略の4つが、今までの計画を基にして発展を考



えています。

ライスセンターは、約4億円の事業費で田園プラザ西側に、遠赤外線乾燥機と糶すり調整設備、精米設備と低温貯蔵庫を考

えています。雪ほたかの品質向上による競争力強化と高齢化による生産者の設備抑制を行うのと、耕作放棄地対策と集約化を行い、景観も保全していくためです。

木材コンビナートと木質バイオマス発電は民有林の間伐材を活用し、森林等の地域資源を持続させ、環境保全と経済性を両立させ、地場産業として雇用も保ち、CO₂クレジットの創出を世田谷等と行う考えです。これらは東京農大や清水建設との共同事業で、世田谷を通じた関係です。約4億円の事業で発電は350kwを考えています。

小水力発電は、村内7本河川があり内4本が一級河川で中央大学との事業です。自然エネルギーによる循環型発電で、CO₂を削減と教育施設とも考えています。現在は、各河川の状況を調査解析し、発電量を精査して事業費を算出して、27年度供用開始を予定し、水車型の200kw位を想定しています。

国際文化サミット、クールジャパンとは、今まで農業と観光を基に進めてきた事業を更に一步前に進めた、食を取り入れて、国内外に情報発信をしていく取り組みです。

昨年11月シンポジウムを開催し、日本食文化を村の食材を使って提供し、村の自然写真と共に食してもらいました。その中でオリジナルおきりこみを発表し、田園プラザで販売したり、村内の宿泊施設や飲食店のメニューに加えてもらっています。今後も毎年行い、村だけでなく利根沼田に広げていきたいと考えています。

TPP問題や財政問題にも耐えうる新しいむらづくりを更に進めてまいります。今後共ご指導をお願いします。

例 会 報 告

- 司 会 石澤雄一郎 S A A 出席委員
- ソング 奉仕の理想 塩沢岳夫君
- 来賓及び来訪ロータリアン

川場村むらづくり振興課長 中村雅治様

会長の時間 宮澤孝幸会長

26日に、群馬県ロータリークラブ野球大会の決勝リーグが、昭和村総合運動公園、野球場で開催されました。

当クラブがホストでしたので、武田親睦活動委員長、久保野球部長、綿貫さんを始め、選手の皆様、また準備や応援、ご協力下さいました全ての皆様に、大変お世話になりました。心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、ロータリーが誕生して108年になりますが、今からおよそ200年前に奉仕と慈愛、そして思いやりの心を持った、伝説の日本人がいたことを、皆様はご存知でしょうか。二宮金次郎です。

二宮金次郎は今から200年ほど前、小田原市の裕福な農家に生まれたのですが、ある時、大きな川の氾濫で、家や田畑をすべて失ってしまい、大変貧しくなりました。そして金次郎が14歳の時にお父さん、16歳の時にお母さんも亡くなり叔父さんに預けられて育ちます。そこでも、貧しい少年時代をずっと過ごし、朝から晩までまじめによく働きました。叔父さんから「お前の時間は俺の時間だ。百姓には、学問などいらぬ。」と怒られ、そこで始まったのが、まきを背負いながら本を読む姿なのです。やがて、金次郎は叔父さんの家から独立して、以前流されてしまった自分の田畑を元通りにするため頑張り、勤勉と儉約に努めた結果、24歳で以前のような状況にまで建てなおすことができました。それを知った当時の小田原藩から、財政の立て直しを頼まれ、これも成功し、生涯に615の村を立て直したと言われています。このような業績が周りから認められ、もとは農民の子でしたが、武士の位を授けられ、「二宮尊徳」という名前になりました。

幹事報告 関 真一幹事

◎地区ロータリー財団委員会より

グローバル補助金 16,771ドル

◎ガバナー事務所より

水からプロジェクト被災地水ペットボトル支援で1人1,000円。4日までに幹事まで。

委員会報告

◎SAA出席委員会 割田一敏委員

会 員 数	会場出席	メ ー ク	出 席 率
61名	31名	16名	79.66%

◎ニコニコ委員会 小暮正人委員

・宮澤孝幸君 卓話者に川場村むらづくり振興課長中村雅治先生を心から歓迎し。26日県RC野球大会決勝リーグが開催され、早朝より準備や応援をされた方、選手の方々お疲れ様、お陰で沼田は第3位。

・保坂充勇君 金、月と家庭集会に出席ありがとうございました。具体的な次年度活動内容がイメージされ楽しみや大変さも感じて。26日地区会員増強セミナーに次年度斎藤幹事山田エレクト石澤委員長と参加。地区は1922人を次年度2000人にしたいと言っていました。

・関 真一君 川場村むらづくり振興課長中村雅治様を卓話にお迎えして。本日52回目の誕生日を迎えて。

・宮内明彦君 卓話者に中村むらづくり振興課長をお迎えでき。

・富澤勝美君 結婚記念日の花籠をいただき。

・ニコニコ一週間 甲子園頑張ってください。

阿形登氏君 木下 進君 都丸順次君
 荒井静雄君 飯島千明君 石澤雄一郎君
 今井幸吉君 津久井功君 桑原伸一郎君
 塩浦敬之君 桑原 裕君 斎藤正典君
 角田 隆君 久保郁弥君

◎財団BOX IN 富澤勝美委員

宮澤孝幸君 関 真一君 角田 隆君
 木下 進君 都丸順次君 石澤雄一郎君
 桑原 滋君 桑原 裕君 富澤勝美君

◎野球部 久保郁弥部長

26日県大会にご協力いただきありがとうございました。予選で1勝、決勝で桐生と行う予定でしたが欠席のため不戦勝で3位になりました。1、2日は甲子園大会に行ってください。

◎茶の湯クラブ 桑原 滋君

6月16日10時より桑寿園で茶事を行います。お昼を用意しますのでご出席下さい。